

宮川 宗一郎

県政レポート

Vol.3 2024年2月発行

令和5年12月定例会 一般質問 登壇

誰ひとり取り残されない社会を目指し

妊娠期から産後まで、母子に寄り添い支える取り組みを進めます

本年は深刻な災害に見舞われた幕開けとなりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地での救助・支援活動に切れ間なく力を尽くしておられる自衛隊、消防、警察や民間の皆様へ感謝しつつ、一日も早くこれまでと変わらぬ日常が戻ることを願っています。

さて、昨年12月13日(水)福岡県議会 令和5年12月定例会が行われ、私からは「特定妊婦支援」についての一般質問をさせていただきます。

特定妊婦とは、予期せぬ妊娠や貧困、DV、知的・精神的障がい、若年妊娠などの理由から子育てをすることが難しく、産前産後の支援が必要とされる妊婦のことです。平成21年には、母子の安全を守るため、児童福祉法に「特定妊婦」の言葉が明記されました。

厚生労働省 令和2年の調査では、特定妊婦の数が約8,300人に上り、10年前と比べると約10倍に急増していることがわかりました。

一方、こども家庭庁 児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会 が昨年9月に発表した「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第19次報告)」では、平成15年7月1日～令和4年3月31日に発生した「心中以外の子どもの虐待死」が939例(989人)との報告がなされています。最新の令和3年度だけでも50例(50人)あり、0歳児が被害を受けた割合は48%、実母が加害者であった割合は40%でした。加害者の分類中、実母の割合は最多です。妊娠を予期せず、誰にも知られたいくないために子どもを遺棄してしまった。子どもの成長発達を促すために必要な関わりが適切にできない「養育能力の低さ」から子どもを死なせてしまった。このような痛ましい事例も少なくありません。

国の支援が始まり、これらの数値がわかるようになりましたが、特定妊婦は従来より潜在的に存在しており、今回の結果も氷山の一角であると私は考えます。まずは特定妊婦の存在をしっかりと把握することが欠かせません。その上でその不安や悩みの背景を見極め、妊娠期から産後までの一貫した支援を通して、児童虐待の未然防止へとつなげていくことが大切です。

孤立する母子を支援する取り組みが全国で広がる中、福岡県でも令和3年度より「福岡県特定妊婦等母子支援事業」が始まりました。誰ひとり取り残されない社会を目指して、家族や周囲の方々を含む地域社会で支える“支援の輪”が福岡県でさらに広がっていくことを期待しています。



令和5年12月定例会 一般質問

- Q1 特定妊婦を把握するために、福岡県はどう対策していきますか？
- Q2 全国的に急増する特定妊婦。福岡県の取り組みと実績は？
- Q3 福岡県は特定妊婦の支援事業を今後どう強化していきますか？



みやがわ そういちろう

宮川 宗一郎 後援会

〒814-0123 福岡市城南区長尾5丁目31-8 有吉ビル202号

TEL:092-836-9738 FAX:092-836-9737

公式サイト <https://miyagawa-soichiro.com>

LINE公式アカウント



公式Instagram



公式サイト



宮川宗一郎後援会では、随時入会のお申し込みを受け付けております。詳しくは公式サイトへ!



こども福祉課様より 一般質問についての回答

Q1 特定妊婦を把握するために、福岡県はどう対策していきますか？

A1 母子健康手帳交付時に県作成のチェックリストによる確認を行い、早期に特定妊婦を発見します。その後市町村へ情報提供を行い、要保護児童対策地域協議会で協議・管理しながら必要な支援に取り組みます。行政や医療機関とつながっていない方については相談窓口があることを知ってもらい、支援へとつないでいきます。ホームページや各種SNS活用等のほか、案内のミニカードを各所にきめ細かく設置して周知に努めています。今後もミニカードの設置場所を拡大しながら周知を進めます。

Q2 全国的に急増する特定妊婦。福岡県の取り組みと実績は？

A2 令和3年度より相談支援や出産・育児のサポート、一時的な住まいの提供、就労支援等を産前産後継続して支援する「特定妊婦等母子支援事業」を行っています。母子生活支援施設等に委託し、各施設のコーディネーターが支援を検討・調整、看護師が出産と子育てを支援し、母子の安定した生活の実現へ向けて取り組みます。在宅支援や、住まいの提供が必要な場合は施設への入所も可能。今年度より実施個所を増やし、事業の拡充を図っています。

<事業開始～令和5年9月末の実績>

437名からの電話及びメール相談に対応。在宅支援32名、入所支援16名。

健康的で安心して暮らせる福岡県を目指し、各地にうかが

スポーツ立県調査特別委員会

管外視察 令和5年10月25日～28日

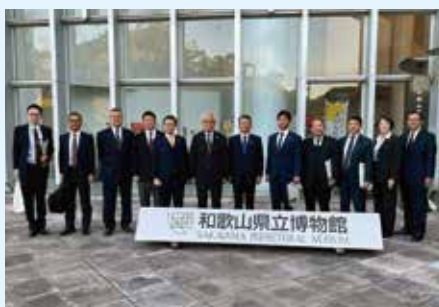
長崎県のスポーツ振興は注目。エクストリーム広場やボルダリングが人気。スポーツコミッションの活動も印象的でした。



警察委員会管外視察

令和5年11月8日～10日

警察委員会として和歌山県（高野山金剛峯寺）、大阪府（警察本部）、岡山県（警察本部）を視察しました。



海上自衛隊佐世保音楽隊

クリスマスコンサート

令和5年12月2日 アクロス福岡
海上自衛隊佐世保地方隊からご招待いただきました。



Q3 福岡県は特定妊婦の支援事業を今後どう強化していきますか？

A3 児童福祉法の改正を受け、福岡県「特定妊婦等母子支援事業」は「妊産婦等生活援助事業」として今年4月に法制化されます。これに合わせ、支援を行う職員の増員や心理的支援や法律相談支援が受けられる体制の整備など、支援の強化を図ります。

また、令和6年度より市町村に「こども家庭センター」を設置。妊産婦等生活援助事業で把握した情報を提供し、必要な支援を状況に応じて行っていきます。

子ども家庭庁

令和6年度より全国で支援拠点を整備

子ども家庭庁は令和6年度より特定妊婦の生活支援を行う拠点を全国で整備することを打ち出しました。事業費を来年度予算の概算要求に盛り込み、制度の実施に向けて具体的な基準の検討などを進めています。

福岡県特定妊婦等母子支援事業

妊娠に悩む妊婦や病院、市町村等からの相談に対応します。

事業内容

①産前産後の支援

- ・ 母子の生活設計等支援計画を作成。
- ・ 体調管理、育児指導、就職支援等、支援計画に基づく支援
- ・ 産科への動向、心理・身体両面からの出産サポート
- ・ 要保護児童対策地域協議会と連携し、支援体制構築
- ・ 特別養子縁組を望む場合は、児童相談所と連携し縁組等支援

②住まいの提供

一時的な生活の場が必要な妊婦や母子に対し、住まいを提供し日常生活を支援。



相談窓口

○産前・産後母子支援ステーション「MamaRizumu(ママリズム)」

TEL 0947-23-0560 所在 田川郡福智町

○福岡にんしん110番「Link(リンク)」

TEL 0120-245-783 所在 三井郡大刀洗町

○こどもと女性包括支援センターhalu(はる)「ここはる」

TEL 092-504-9037 所在 大野城市

いました!

福岡県防衛議員連盟 防衛講話&名刺交換懇談会

令和5年12月8日

講話では、自衛隊福岡病院長の森将補が「衛生機能の変革」について講演しました。



福岡市消防出初式 別府校区賀詞交歓会

令和6年1月6日 マリンメッセ他

勇ましい消防団の方々の行進を見せさせていただきました。



城南区新春のつどい

令和6年1月10日

城南区の新春のつどいに参加しました。高島市長より、今年の施設開業や体育館リニューアルの発表がありました。





地域活動

スポーツ振興

<2023年>

- 12月22日 中学生軟式野球
福岡県選抜チームによる知事表敬
- 12月23日 第3回ヤング福岡中央ホークス杯
小学生ソフトボール大会
- 11月19日 城南区ソフトボール王座決定戦

地域イベント・クリーン活動

<2024年>

- 1月8日 田島、七隈、片江どんと焼き
理容生活衛生同業組合新春賀詞交歓会
- 1月7日 南片江、堤、長尾、金山どんと焼き

<2023年>

- 12月23日 JA餅つき大会
- 12月17日 神松寺、南片江、七隈餅つき大会
- 12月10日 樋井川2丁目、城南校区、別府校区
餅つき大会
- 12月3日 堤一丁目、樋井川一丁目、長尾校区、
田島ふれあい餅つき大会
- 11月19日 鳥飼校区ハミングロード「一人一花」
花植え運動
- 11月18日 田島小学校PTAバザー
- 11月5日 七隈文化祭、福岡大学七隈祭
堤公民館文化祭
鳥飼公民館サークル文化祭
- 11月3日 長尾公民館サークル文化祭



お気をつけください!

城南区でも二セ電話詐欺が頻発しています。
県では、二セ電話詐欺対策動画を制作し公開しております!



陸上自衛隊での救助経験の強みを生かし、 安心安全な生活に力を注ぎます。

名前 宮川 宗一郎(34歳)
 家族構成 妻 長女 長男
 趣味 バレーボール、筋力トレーニング、ツーリング、読書、カラオケ
 座右の銘 感謝

- 平成元年12月29日生 福岡市出身 ●笹丘小学校卒業
- 泰星中学高等学校(現・上智福岡中学高等学校)卒業
- 防衛大学校理工学部(建築環境工学科)卒業
- 陸上自衛隊(ヘリコプター操縦士 平成25～令和4年)
平成28年4～5月 熊本地震における災害派遣
平成29年7～8月 北部九州豪雨における災害派遣
- 福岡県議会議員(1期目) ●警察委員会 副委員長
- 防衛議員連盟 事務局長 ●スポーツ立県調査特別委員会 委員
- 福岡県隊友会 相談役(陸上自衛隊) ●春日基地協賛会 顧問(航空自衛隊)

